

2012年3月期 第1四半期決算
補足説明資料
(決算の概要 および 業績見通し)

2011年7月28日



JFE商事 ホールディングス 株式会社

1. 2012年3月期第1四半期連結決算のポイント
2. 連結損益計算書
3. 連結貸借対照表(要約)
4. 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)
5. セグメント情報
6. 2012年3月期 連結業績予想及び配当予想
7. 〈参考〉売上高・経常利益推移(連結)

1. 2012年3月期 第1四半期連結決算のポイント

売上高は、主に鉄鉱石・石炭価格が過去最高値となるなど、鉄鋼主原料価格の高騰が続いたこと及びそれに伴う鋼材価格の上昇により、前年同期比で361億円増収の5,201億円。

経常利益は、公共投資の減少による土木・建設分野の販売が低調であったこと等により、前年同期比6億円減益の47億円。

四半期純利益は、経常利益6億円の減益等により、前年同期比4億円減益の27億円。

2. 連結損益計算書

(億円)

	当四半期 (4-6月)	前年同期	増減(当四半期-前年同期)	
			増減	増減率
売上高	5,201	4,840	361	7%
売上総利益	165	176	11	6%
(利益率)	(3.2%)	(3.6%)	(0.5%)	
販管費	122	125	3	2%
営業利益	43	51	8	16%
営業外損益	4	2	2	
経常利益	47	53	6	11%
特別損益	-	1	1	
税引前 四半期純利益	47	52	5	10%
四半期純利益	27	31	4	13%

売上高・売上総利益

JFE商事(単独)	+ 241	3
・鉄鋼	+ 91	3
・原材料・資機材	+ 150	+ 0
建材系分社3社	+ 26	1
国内子会社	+ 10	6
海外子会社	+ 134	1
連結修正	56	1
HD、分割3社(連結)	+ 6	+ 1

販売費及び一般管理費

販売費の減 他

営業外損益

受取配当金 他

特別損失

前期：資産除去債務 1

3. 連結貸借対照表(要約)

(億円)

	当四半期末 (6月末)	前年度末	増減
総資産	5,720	5,713	7
純資産	1,180	1,174	6
有利子負債	1,147	1,071	76
有利子負債倍率 (DER)	1.02倍	0.95倍	0.07倍
自己資本比率	19.7%	19.7%	0.0%

総資産

前期末比7億円増の5,720億円。

現預金	33
売上債権	5
棚卸資産	+36 他

純資産

《6億円増の内訳》

~増加~	四半期純利益	+27億円
	評価・換算差額	+2億円
~減少~	支払配当	23億円
	少数株主持分	+0億円

有利子負債

立替の増による運転資金の増加等により、前期末比76億円増の1,147億円。

有利子負債倍率(DER)

$$= \text{有利子負債} \div (\text{純資産} - \text{少数株主持分})$$

自己資本比率

$$= (\text{純資産} - \text{少数株主持分}) \div \text{総資産}$$

4. 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(億円)

	当四半期 (4-6月)
営業活動によるCF	68
投資活動によるCF	15
フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	83
財務活動によるCF	47
現金同等物の換算差額	3
現金及び現金同等物の増減	33
現金及び現金同等物(期首)	315
現金及び現金同等物(期末)	282

営業活動によるCF

税引前利益	+ 47	
減価償却	+ 13	
営業立替の増	49	
在庫の増	31	
法人税等の 支払及び還付	59	他

投資活動によるCF

有形固定資産の取得	10	
無形固定資産の取得	2	他

財務活動によるCF

借入金等の増減	+ 70	
配当金の支払	22	他

5. セグメント情報 (鉄鋼および鉄鋼周辺)



(億円)

	売上高			経常利益		
	当四半期 (4-6月)	前年同期	増減	当四半期 (4-6月)	前年同期	増減
鉄鋼および 鉄鋼周辺	5,099	4,745	354	43	49	6

【経常利益の増 6億円の主な内訳】～鉄鋼および鉄鋼周辺～

JFE商事 + 2

・国内鉄鋼：数量 104千トン、単価 +9.0千円/トン

・鉄鋼貿易：数量 7千トン、単価 +US\$145/トン US\$平均レート 91.87円/US\$ 82.16円/US\$

グループ会社 7

・国内子会社： 2

・海外子会社： 1

・持分法適用会社： 4

連結修正 1

前期比にて、単価上昇による増収はあるものの、土木・建設分野の販売が低調であったことなどから、経常利益は6億円の減益。

5. セグメント情報 (鉄鋼以外)



(億円)

セグメント	売上高			経常利益			主な内訳
	当四半期	前年同期	増減	当四半期	前年同期	増減	
食 品	67	54	13	3	3	0	韓国産第3のビールの取引拡大に加えて、震災の影響による需要増加により畜産加工品缶詰や果実缶詰の販売が大幅に増加したことにより増収。
エレクトロニクス ()	35	41	6	1	2	1	半導体部門における震災の影響は軽微であったものの、実装機部門においてお客様の設備投資案件が軒並み凍結・延期となったことから減収減益。
不動産	0	1	1	0	1	1	保有不動産の売却を継続。

川商セミコンダクター(株)が川商エレクトロニクス(株)と事業統合した事に伴い、報告セグメントの区分方法の見直しを行い、当四半期より、「半導体事業」から「エレクトロニクス事業」に変更しております。

< 2011年1月に川商セミコンダクター(株)と川商エレクトロニクス(株)を統合し、JFE商事エレクトロニクス(株)へ >

なお、前年同期実績は、変更後の区分方法に組み替えて表示しております。

6. 2012年3月期 連結業績及び配当予想

鉄鋼業界の動向

国内において、自動車分野を中心にサプライチェーンの修復が進むことに加え、建設機械・産業機械分野においても回復が進むと見込まれる。

輸出において、アジア新興国向けを中心に堅調に推移すると考えられる。

上記より、鋼材需要は総じて緩やかに回復していくものと想定されるが、一方で、中国・韓国における生産能力の更なる拡大や、米国における景気回復の減速、欧州の信用不安、円高などの懸念要素も多いため、今後の状況を十分に注視していく必要があると考える。

当第1四半期の業績は、
概ね予想通りに推移

通期業績予想に変更なし。
(2011年4月27日公表)

6. 2012年3月期 連結業績及び配当予想

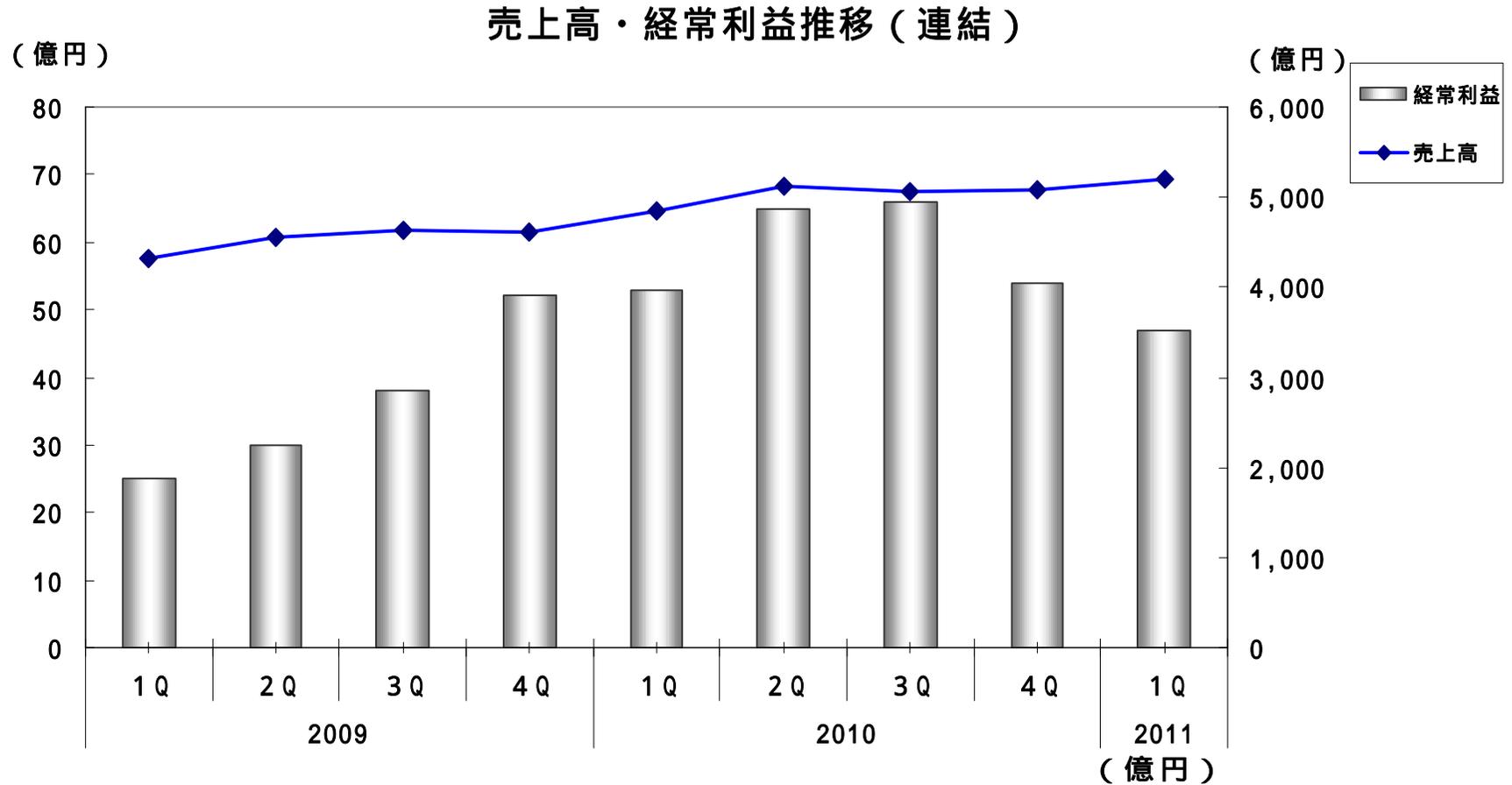
4月27日公表の通期業績予想値に変更なし。 (億円)

通期連結業績	12.3期 予想	11.3期 実績	増減額	増減率
売上高	23,300	20,115	3,185	16%
営業利益	275	234	41	18%
経常利益	270	238	32	13%
当期純利益	165	136	29	21%

1株当たり配当金	10円	10円
	中間5円を予定 期末5円を予定	期末で実施

2012年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正については、本日、別途開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

7. 《参考》売上高・経常利益推移（連結）



	2009年度				2010年度				2011
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q
売上高	4,320	4,551	4,629	4,619	4,840	5,126	5,065	5,084	5,201
経常利益	25	30	38	52	53	65	66	54	47



JFE

* 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって見通しと異なる場合があります。